

## 奈良県の ITC 教育環境について

奈良県の現状 (平成28年5月1日現在 平成30年2月公開)

### 1. 教育用コンピューター(タブレット含む) 1台当たりの児童・生徒数

1-1	小学校	7.6人/台	全国平均	6.7人/台	
1-2	中学校	6.9人/台	全国平均	5.9人/台	
1-3	高等学校	4.9人/台	全国平均	3.6人/台	
1-4	特別支援学校*	5.8人/台	全国平均	2.8人/台	*小～高等部すべて
1-5	奈良県全体	6.7人/台	全国平均	5.9人/台	国の目標 3.6人/台

小・中・高すべてにおいて、全国平均を下回っている。特に支援学校においては、全国平均の約2倍と整備が遅れている。参考 全国1位 佐賀県 1.9人/台

### 2. 電子黒板の1校当たりの設置状況

2-1	小学校	2.4台/校	全国平均	3.4台/校
2-2	中学校	1.4台/校	全国平均	3.3台/校
2-3	高等学校	1.9台/校	全国平均	3.5台/校
2-4	特別支援学校	1.2台	全国平均	1.8台/校
2-5	奈良県全体	2.0台/校	全国平均	3.3台/校

電子黒板の設置状況も、小・中・高いずれも全国平均を下回っている。

奈良県内各市町村別のデータもあります。ご希望の方は、お問い合わせのページより、個別にお問い合わせください。

### 参考文献

1. データ引用 学校における教育の情報化の実態等に関する調査 2018年2月公開の最新版より引用 (e-Stat 政府統計サイト)
2. ITC 教育環境整備ハンドブック 2018  
一般社団法人 日本教育情報化振興会のホームページよりダウンロード可能  
[https://www.japet.or.jp/jov4boeo0-964/#\\_964](https://www.japet.or.jp/jov4boeo0-964/#_964)

上記はあくまでもサポート21・ならの、独自調査の結果であり、公式なものではありません。また、一部の抜粋です。

## 考 察 (私見)

今回の調査は、あくまでも ITC 環境のみの結果です。言わばハード面での結果であり使いこなせているかどうかという、ソフト面はこの調査では見えてきません。5.9 人に一台のパソコン(タブレット)では、十分な教育環境とは言えないと思います。個人的な推測ですが、自宅でパソコン環境に恵まれている(自分のパソコンやタブレットを持っている)児童・生徒が中心になって操作しているのではないのでしょうか。

電子黒板は、各教室の黒板を電子化するというものではなく、理科室などの特別教室等に設置され、デジタル顕微鏡の画面を写したりすることや。教科書の写真や図解の補足などで、全員でひとつの画面を共有する様な使われ方をしている所が多いようです。

また、調査では先生方のスキルに関する結果も出ていますが、今回は割愛しました。理由は、スキルの評価が実技試験などではなく、アンケート方式で自身のスキルを回答する自己申告方式であり、客観的なものではなく、テストの結果などの様に数値化されていないので、正しい評価は出来ないと判断しました。

また、ITC 機器を使いこなして、更にそれを教える力として備えている教員は、全体からみればまだまだ少数派です。機器の整備だけでなく、教員の更なるスキルの向上も課題として残ります。前記の通り、自己申告形式ではありますが、各種スキル面での奈良県のランキングは残念ながら下位グループとなっています。外部の専門家による支援体制(制度)もありますので、それらを活用するのもひとつの選択肢だと思えます。

以上